

おおい 自然園

ハラグロ オオテントウ

No.152

日本産のテントウムシの中では最も大きな種で、よく見るナナホシテントウの倍以上の大きさがあります。和名のとおり腹面の広い範囲が黒色をしています。従来は神奈川県にいない種でしたが、分布を拡大しており、特に2010年代以降は急速に分布が広がって、県内各地で見られるようになりました。クワキジラミという昆虫を餌とするため、この虫がつくクワの木で春から初夏にかけて幼虫や蛹とともに見られるほか、飛んでいる個体や路肩の草に止まっている個体もよく見ます。

その大きな体から一般の人にも注目されやすく、分布の記録も多い虫ですが、なぜ近年になって急に増えたのか、理由はわかっていません。



ハラグロオオテントウ

神奈川県生命の星・地球博物館 学芸員 渡辺恭平

【おおい自然園 HP】



▲大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。

【自然NOWへの投稿】



▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で